

達成状況評価書(平成26年度)

部局名:臨床医工学融合研究教育センター

項目	コメント
<p>1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)</p> <p>教育に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、大学院高度副プログラムとして提供してきた、高度職業人育成科の「臨床リサーチプロフェッショナル育成コース」について、世界に通用する人材教育を実現するために発展させ、一般社団法人日本製薬医学会と連携して、EUにおける製薬医学の標準教育プログラム PharmaTrainのカリキュラムへの準拠を図り、EU以外で初めてCenter of Excellence (CoE)として認証を受けるなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>また、米国スタンフォード大学で実施され、グローバルに展開されている、医療機器開発におけるイノベーション創出のためのバイオデザイン教育プログラムを日本人研究者向けに実施することを目指し、教員1名が渡米の上、実際の当該プログラムを受講するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)</p> <p>研究に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、未来型ハイブリッド臓器に関する国際シンポジウムを開催し、外国人教員や学外講師を招いて情報交換を行ったほか、医工情報連携シンポジウムを6回開催し、本学および国内外の他施設の研究者による講演を通じて、組織横断的な共同研究を模索するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>3. その他 (大学の年度計画: 11~17)</p> <p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、土曜日開講のスキルアップ講座を関西地域教育機関にも引き続き提供しており、26年度は5コース(うち24サブコース)を提供し、受講生は昨年度から約250名増加し、835名が受講するなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
<p>4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)</p> <p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p>	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、医・工・情報のより効率的な研究開発とグローバルな人材育成を整えた部局「国際医工情報センター」への発展的移行に向けた手続きを終え、体制、設備を整備するなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>

達成状況評価書(平成26年度)

項目	コメント
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、大学院高度副プログラム「臨床リサーチプロフェッショナル育成コース」について、EUにおける製薬医学の標準教育プログラムへの準拠を図り、Center of Excellence (CoE) として認証を受けたほか、スキルアップ講座の実施、「国際医工情報センター」への発展的改組など、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>